



だいすき！ SAKAHOGI



CS 新聞

令和5年度第2回学校運営協議会&地域・園・学校・地域活動協働本部会議を開催

11月1日(水)に今年度第2回目の学校運営協議会が開かれました。コロナ禍が流行してからは、中央公民館を会場にして行ってきましたが、コロナ禍も収まってきたので久しぶりに学校で行いました。運営協議会が始まる少し前には、生徒会の人たちによる中学校の活動の紹介がありました。その後、小中学校長から学校経営の進捗状況の説明があり、それに対する意見交流がなされました。

園・学校・地域協働本部では、3つの分科会に分かれて話し合いがされました。ふるさと・絆委員会では、あいさつ活動を中心に話し合いました。地域スポーツ委員会では部活動の地域へのクラブ化が進んできたので今後学校に協力できそうなことについて、また、多文化共生委員会では、園や学校の外国人児童の実態をもとに今後の動きについて話し合いがなされました。



今回は、岐阜大学協学センター長の益川浩一先生に来町いただいて会の最後にご指導を賜りました。

○学校で開催できたことは、子どもたちの姿を感じられてよかった。 ○小中学校とも学習に困っている子に焦点をあてていることに感銘を受けた。 ○大人も自分たちのあいさつを振り返りながらやることも大事ではないか。 ○坂祝町のCSは確実に進んでいることを実感した。

「ふるさと・坂祝学習」真っ最中

【小学校】

◆6年生「昔の話」

11月14日(火)に兼松悟さん(酒倉)による6年生への歴史の授業が行われました。今回は、織田信長の美濃攻めと猿啄城の関係やお城のつくりなどについて、子どもたちと対話をしながら説明されました。町の歴史のことはもちろん教科書からは得られない貴重なお話をいろいろと聞くことができました。子どもたちからは、「こうした歴史があって今の坂祝があることがわかった。」など最上級生らしい感想が出ました。



◆6年生「合唱指導」



11月21日(火)、6年生が12月の授業参観で披露する合唱の授業で、西尾諭子さん(大針)が講師として各クラスを指導してくださいました。西尾さんは、子どもたちの合唱を聞いて「とてもよかった。」と感想を述べられた後、さらに良くなるように

アドバイスをしてくださいました。西尾さんの一言で子供たちの声や表情の変化がみられました。その後、西尾さんは、ご自分の体験に触れながら感謝の気持ちを表す「いのちの歌」を歌ってくださいました。子どもたちはじっくりと聴きいっており、「感動を与える合唱」をモットーにしている6年生だからこそ歌の力を感じることができました。



【中学校】

◆全校福祉活動



11月22日(水)に生徒全員が地域への感謝の思いを込めて、自分たちが住んでいる自治会の公民館で清掃活動などを行いました。

ここに至るまでに、生徒たちは各自治会長さん方と今年の活動内容について打ち合わせを行ってきました。坂祝中学校では、生徒と地域の方たちとがふれあえる活動を大切にしています。

【幼稚園】

◆見守り活動



幼稚園に10月から入園してきたブラジルの園児がいます。入園したばかりでとまどいがあるので、多文化共生委員長の梅田千枝子さん(酒倉)が時折見守りに来てくださっています。日本語のやりとりはまだ難しいものの、梅田さんの優しい声掛けに反応しています。先生方のお力もあり、登園して1か月弱ですが、園の生活にも慣れて簡単なあいさつや片付けなどができるようになってきました。

あいさつの輪を広げよう

毎月1日は「あいさつ運動の日」

毎月初めに学校で行われている『あいさつ活動』にCSが参加するようになって半年以上が経ちました。「あいさつを通して子どもたちと地域の大人たちが顔見知りになること」を大事に取り組んでいます。おかげさまで、11月のCSでは「子どもたちのあいさつがよくなってきた。」という意見がでました。私たち大人も、家庭や職場・地域などでいつでもどこでも気持ちの良いあいさつができているか、一度自らを振り返ってみてはいかがでしょうか。

日に日に寒くなってきました。お身体に気を付けて引き続き皆様のご協力をお願いします。